

令和6年度

# 報告様式の記入方法

経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部政策課

電話番号 : 03-3501-2773(直通)

FAX : 03-3580-8449

E - mail : [bzl-06kinkyuji-kunren@meti.go.jp](mailto:bzl-06kinkyuji-kunren@meti.go.jp)

# 説明内容

1. 石油情報報告緊急時コード表について
2. 様式3           石油輸入実績
3. 様式4           石油輸出実績
4. 様式5           製油所原油処理・生産・受入・払出量
5. 様式6           製油所等石油在庫量
6. 様式7           油槽所等石油製品・半製品在庫量
7. 様式6及び7   在庫報告の注意点
8. 様式10          原油処理・石油在庫量(日次)
9. その他の注意点

# 1. 石油情報報告緊急時コード表について

資料1-2の「石油情報報告緊急時コード表」(以下「緊急時コード表」という。)は、平常時の「石油製品需給動態統計調査 石油輸入調査 コード表」と以下の点で異なります;

- ① 企業・事業所コード(別表1)  
支店等を除き、油槽所等の事業所を追加(報告主体の相違による。)
- ② 製品コード(別表3)の追加  
(平常時コード表には製品コードはありません。)
- ③ タンカーコード(別表7)  
LPG船舶(9000番台)を追加
- ④ 船舶位置コード(別表8)の追加(今回は使用しません。)  
船舶輸送状況報告のため
- ⑤ 用船区分コード及び契約期間コードの除外(今回は使用しません。)  
(調査目的の相違による。)

## 2. 様式3 石油輸入実績

石油輸入実績の様式は3種類あります；

### 様式3-1 原油輸入実績

→原油を輸入した備蓄義務者の方が報告

### 様式3-2 石油製品輸入実績(保税輸入品を除く)

### 様式3-3 石油製品輸入実績(保税輸入品に限る)

→石油製品を輸入した備蓄義務者の方が報告

(「保税輸入品」は、日本と海外を往来する航空機や船舶に供給するために保税地域に輸入された石油製品のことです。)



様式 3-2 : 省令様式第 2 2 の 1 4 (第 3 4 条の 4 関係) 第 2 表

# 石油輸入実績 (石油製品輸入実績 (保税輸入品を除く))

(6 年) 数量の入力は0以上の整数にてご記入ください。 1月2日まで)

報告対象となる期間を記入してください。(入力プログラムを使用する際には、最初の基本情報画面で対象年月日を入力することにより自動的に表示されます。)

検 尺 完 了 日			陸 揚 地 ( 企 業 ・ 事 業 所 )	製 品 名	輸 入 量	船 舶 名 称
年	月	日				
(記入例)	2024	10	31	XXX001	350	6,018 F050
<p>「2024年10月31日」の場合</p>			<p>報告内容のデータを取得した時点(週次であれば前週土曜日の日付)を記載してください。</p>		<p>企業名やTEL、作成者の氏名等は忘れずに記載してください。</p>	
<p>企業名の後に、企業コードを記載してください。</p>			<p>〇△石油(株) XXX</p>	<p>報告対象年月日</p>	<p>令和 6 年 1 1 月 2 日</p>	<p>TEL 03-1234-5678</p>

陸揚地、製品名、船舶名称はコードを入力してください。各種コードは、資料1-2「石油情報報告緊急時コード表」をご参照下さい。

前3桁が企業コード、後3桁が事業所コードになります。需要家の基地へ直接輸入する場合は、「需要家納め」のコード(100001)を記入。

- 「軽油」の場合。
- ガソリン=310
  - ナフサ =320
  - ジェット燃料油=330
  - 灯油 =340
  - 軽油 =350
  - A重油 =360
  - B・C重油=380
  - P,P,P,B=451
  - B,B =452

コード表の記入例に従い記載してください。  
船籍コード(外国船(F)、日本船(J)、便宜置籍船(C))の後にDWTを百の単位で四捨五入し「千DWT」単位で記入。記入例は、「外国船(F)」の50,438DWTの場合。

輸入量の単位は、燃料油が「kl」、液化石油ガスが「トン」です。

年は西暦4桁で入力してください。

企業名の後に、企業コードを記載してください。



### 3. 様式4 石油輸出実績

石油輸出実績の様式は3種類あります；

様式4－1原油輸出実績

→原油を輸出した備蓄義務者の方が報告

様式4－2石油製品輸出実績(保税輸出品を除く)

様式4－3石油製品輸出実績(保税輸出品に限る)

→石油製品を輸出した備蓄義務者の方が報告

保税輸出品とは、日本と海外を往来する航空機又は船舶に供給する石油製品のことをいいます。

石油製品需給動態統計調査では、ボンド輸出は生産ボンドのみを報告いただいておりますが、緊急時運用報告における保税輸出品の輸出量は生産ボンドとボンド・ボンドの合計となります。







# 4. 様式5 製油所原油処理・生産・受入・払出量

様式5：省令様式第22の16（第34条の4関係）

製油所名	原油 (kl)	A重油 (kl)	B・C重油 (kl)	燃料油計 (kl)	石油ガス 原油・燃料油:kl、石油ガス:t							
					プロパン(t)	ブタン(t)						
	処理量											
	生産量											
	受入量											
	払出量											
(記入例)	〇△製油所 XXX002	104,158	26,040	5,206	4,988	10,516	20,931	10,332	15,711	93,724	2,864	1,644
	生産量											
	受入量									0	0	0
	払出量									0	0	0
	処理量									1,466		1,247
	生産量											
	受入量											
	払出量											

数量の入力は0以上の整数にてご記入ください。

1月2日まで

報告対象となる期間を記入してください。(入力プログラムを使用する際には、最初の基本情報画面で対象年月日を入力することにより自動的に表示されます。)

合計欄：調査票取込後、システムにて自動計算されます。

製油所名の後に、企業・事業所コードを記載してください。前3桁が企業コード、後3桁が事業所(製油所)コードとなります。

石油製品需給動態統計調査の消費に相当する数量を入力してください。

経済産業省生産動態統計調査の生産に相当する数量から自家消費分を除いた数量を入力してください。また、自家消費分が大きく、結果として生産がマイナスとなる場合が生じた際は、資源・燃料部政策課(03-3501-2773)までご連絡ください。

報告者の所有する製油所について、その名称を記入してください。

入力単位は、「kl」です。

入力単位は、「トン」です。

他の製油所等から受け入れた数量を入力してください(輸入分は除く)。

企業名やTEL、作成者の氏名等は忘れずに記載してください。

払い出した数量を入力してください(輸出分は除く)。

報告内容のデータを取得した時点(週次であれば前週土曜日の日付)を記載してください。

※生産量は、自家消費分を除いた数量

企業名の後に、企業コードを記載してください。

企業名	作成者の職名及び氏名	需給部 経済 太	TEL 03-1234-5678
〇△石油(株) XXX	報告対象年月日	令和 6 年 1 月 2 日	

# 5. 様式6 製油所等石油在庫量

様式6：省令様式第22の17（第34条の4関係）

数量の入力は0以上の整数にてご記入ください。

## 製油所等石油在庫量

本様式における在庫報告は、占有権ベースとなりますので、ご注意ください。

製油所等名 (k l)	原油 (k l)	石油製品									半製品						
		ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	A重油	B・C重油	燃料油計	石油ガス	粗ガソリン	粗灯油	粗軽油	粗重油	半製品計		
		(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	(k l)	プロパン(t)	ブタン(t)	(k l)				
(記入例)																	
○△製油所	XXX002	311,598	25,194	5,016	4,166	2,415	20,016	13,319	13,991	84,117	2,513	916	28,338	15,789	16,552	11,996	72,675

報告者の所有する製油所(原油輸入基地を含む)について、その名称を記入してください。

製油所等名の後に、企業・事業所コードを記載してください。前3桁が企業コード、後3桁が事業所コードとなります。

合計欄：調査票取込後、システムにて自動計算されます。

前々週土曜日(10月26日)時点、及び前週土曜日(11月2日)時点の在庫を、それぞれ別々の用紙に集約し、翌週の報告日(11月5日)16:00までに報告してください。

入力単位は、「kl」です。

入力単位は、「トン」です。

入力単位は、「kl」です。

原油・石油製品とも国家備蓄分は含めないでください。

企業名やTEL、作成者の氏名等は忘れずに記載してください。

報告内容のデータを取得した時点(週次であれば前週土曜日の日付)を記載してください。

製油所等を所有する企業名を記載してください。企業名の後に、企業コードを記載してください。

企業名	作成者の職名及び氏名	報告対象年月日	TEL 03-1234-5678
○△石油(株) XXX	需給調整課 経済太郎	令和6年11月2日	

# 6. 様式7 油槽所等石油製品・半製品在庫量

様式7：省令様式第22の18（第34条の4関係）

数量の入力は0以上の整数にてご記入ください。

## 油槽所等石油製品・半製品在庫量

本様式における在庫報告は、占有権ベースとなりますので、ご注意ください。

油槽所等名	石油製品										半製品					
	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	A重油	B・C重油	燃料油計	石油ガス		粗ガソリン	粗灯油	粗軽油	粗重油	半製品計	
	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	プロパン(t)	ブタン(t)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	(kl)	
(記入例) ○△油槽所	XXX002	25,194	5,016	4,166	2,415	20,016	13,319	13,991	84,117	2,513	916	28,338	15,789	16,552	11,996	72,675

報告者の所有する油槽所(製品輸入基地を含む)について、その名称を記入してください。

油槽所等名の後に、企業・事業所コードを記載して下さい。前3桁が企業コード、後3桁が事業所コードとなります。

合計欄：調査票取込後、システムにて自動計算されます。

前々週土曜日(10月26日)時点、及び前週土曜日(11月2日)時点の在庫を、それぞれ別々の用紙に集約し、翌週の報告日(11月5日)16:00までに報告してください。

入力単位は、「kl」です。

入力単位は、「トン」です。

入力単位は、「kl」です。

石油製品の国家備蓄分は含めないでください。

企業名やTEL、作成者の氏名等は忘れずに記載してください。

報告内容のデータを取得した時点(週次であれば前週土曜日の日付)を記載してください。

油槽所等を所有する企業名を記載してください。企業名の後に、企業コードを記載してください。

企業名	作成者の職名及び氏名	需給	経済 太郎	TEL 03-1234-5678
○△石油(株) XXX	報告対象年月日	令和	6年	11月2日

## 7. 様式6及び7 在庫報告の注意点

- ・ 事業所にある占有権ベースの在庫を報告

- ・ 小規模事業所の報告について

事業所単位で原油・燃料油と液化石油ガスそれぞれの総貯油能力が訓練基準量(5,000kℓ、液化石油ガスでは5,000ト)に満たない小規模事業所については、在庫報告の対象外とします。

全ての事業所で対象外となる場合は、在庫報告の様式を無報告登録としてください。

- ・ 前々週在庫の報告について

初回(11月5日)報告の際には前々週末在庫(10月26日在庫)と前週末在庫(11月2日在庫)を報告願います。尚、2回目(11月7日)報告については、11月6日末在庫の日次報告のみで様式6及び7の在庫報告はありません。

## 8. 様式10 日次報告

・様式10は、日次報告です。

・11月6日末在庫量を11月7日の16時までに報告願います。

・様式10の調査票には原油処理の項目がありますが今回の緊急時運用訓練では報告不要です。

# 8. 様式10 原油処理・石油在庫量(日次)

様式10(第34条の4関係)

事業所名		原油処理・石油在庫量(日次)														合計			
コード		原油処理	原油在庫	製品										半製品		合計			
				ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	A重油	B・C重油	燃料油計	液化石油ガス	粗ガソリン	粗灯油	粗軽油	粗重油	合計		
(記入)	△製油所 XXX002	311,598	25,194	5,016	4,166	2,415	20,016	13,319	13,991	84,117	2,513	916	28,338	15,789	16,552	11,996	72,675		
企業・事業所コードを記載してください。前3桁が企業コード、後3桁が事業所コードとなります。		企業名 △△石油(株)														コード XXX	作成者の職名及び氏名 需給部 経済 太郎	報告対象年月日 令和 6 年 11 月 6 日	TEL 03-1234-5678

本年度の訓練では原油処理量の記入は不要です。

数量の入力は0以上の整数にてご記入ください。

本様式における在庫報告は、占有権ベースとなりますので、ご注意ください。

合計欄:調査票取込後、システムにて自動計算されます。

(単位:kl、液化石油ガス:t)

在庫管理専門の会社等、非備蓄義務者に預けている在庫については、その非備蓄義務者に石油を預けている他の備蓄義務者間や備蓄義務者-非備蓄義務者間で在庫の重複報告がないよう調整して頂き、非備蓄義務者の保有する在庫についても占有権で報告が行われるよう、周知してください。

本報告においては、所有する貯油設備(事業所毎)の能力が、原油用+燃料油用+半製品用の合計で5,000kl未満(石油ガス用においては、合計で5,000t未満)の場合は、報告を行う必要がないものとします。  
また、貯油設備として同一敷地内に「原油用、燃料油用又は半製品用」及び「石油ガス用」の両設備を持っている場合は、「原油用、燃料油用又は半製品用」又は「石油ガス用」の各々について、上述の基準に照らしてご判断ください。

報告者の所有する製油所について、その名称を記入してください。

入力単位は、「kl」です。

入力単位は、「トン」です。

入力単位は、「kl」です。

国家備蓄原油は含めないでください。

報告内容のデータを取得した時点を記載してください。

企業名やコード、TEL、作成者の氏名等は忘れずに記載してください。

## 9. その他の注意点

- ・ 0(ゼロ)報告について

無報告登録していない様式(ご提出される予定となっている様式)で、報告対象期間に実績がなかった場合でも、必ず「0(ゼロ)」で報告を行ってください。

(集計者は、対象様式について実績がなかったのか、報告をし忘れていいのか、判断できないためです。)

- ・ 報告対象年月日について

報告様式作成日ではなく、データ取得時点の日付(週次の場合は前週土曜日の日付)を記載してください。また、日次の場合は該当日を記入してください。

- ・ 関連会社等2社以上の分をまとめて報告する場合について  
企業毎に分けて、それぞれ調査票を作成してください。

- ・ 報告者の一本化について

緊急時運用報告では報告を会社単位で一本化させていただきますので、個別に各事業所から生産・在庫関連の報告がないように事前に調整をお願いします。

- ・ 数量の入力は、0以上の整数にてご記入ください。